

# 国語科学習指導案

授業者 宗光 智美  
中学校美術教員 赤木 博明

- 1 日時 平成23年11月25日（金） 2校時
- 2 場所 6年2組教室
- 3 学年 第6学年2組（児童数 35名）
- 4 単元名 ものの見方を広げよう  
「『鳥獣戯画』を読む」「この絵，わたしはこう見る」

## 5 単元について

### （1）単元観

本単元は，主として小学校学習指導要領「C読むこと」「B書くこと」の次の内容を受けて設定されている。

#### 「C読むこと」

（1）ウ 目的に応じて，文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

#### 「B書くこと」

（1）ウ 事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

本単元で付けたい力は，筆者のもの見方や考え方をとらえ，自分の考えを明確にしながら読む力と絵を読み解いたことを伝えるため事実と感想，意見などを区別して簡単な解説の文章を書く力である。

本単元の「『鳥獣戯画』を読む」は，筆者がアニメ映画の監督の視点で『鳥獣戯画』の素晴らしいと感じている点について解説を交えながら感想や意見を述べている説明的な文章である。ここでは，筆者の『鳥獣戯画』に対する見方を，表現や構成の工夫とともにとらえ，自分のもの見方を広げていく。そして「この絵，わたしはこう見る」で，自分なりに絵から読みとったことや感じたことを，読者に伝わるように表現を工夫して書く学習へと展開していく。またこの単元は，図画工作科におけるB鑑賞の学習内容「我が国や諸外国の親しみのある美術作品などを鑑賞して，よさや美しさを感じ取ること」とも関連している。

「『鳥獣戯画』を読む」は，まず，絵と読者を出会わせ，次に「絵」と「絵巻物」の作品の解説や読み解きを進め，最後に筆者の主張を述べるという尾括型の文章である。本論後半では，『鳥獣戯画』だけでなく絵巻物全般を評価し，結論では，『鳥獣戯画』を人類の宝という象徴的な言葉で締めくくっている。

記述の特徴は，絵の正確な観察をもとにして筆者の解説・評価が繰り返し述べられていることである。絵から見る表情，筆さばき，時間の流れなど評価する対象が次々と示され，さらにそれらを実評価する言葉は多様で高まりが見られる。絵と筆者の言葉が連動して生まれる躍動感，体言止めや語りかけるような表現等読者を引きこむ書きぶりである。

(2) 児童観

本学年の児童は、1学期に説明的な文章を通して、「筆者の主張をとらえて、自分の考えを持つ」学習をし、自分の体験等を根拠として意見文を書いた。

単元の目標に対する本学年の実態を把握するために、説明文「くらしの中の和と洋」(東京書籍4年)を用いてレディネステストを行った。結果は次の通りである。

(レディネステスト 対象児童数 99名)

設問	内容	正答(%)	
	要旨をとらえる。	62	
	筆者の主張に対して自分の考えを書く。	44	
	筆者の書き方の工夫をとらえる。 (自由記述)	1 対比している	34
		2 具体例	25
		3 文章構成	11
		4 読者への呼びかけ・文末表現	24
		5 接続語	9
		6 無回答など	14

児童の誤答を分析すると、設問 1 では、要旨を含む段落は見つけているが、的確に要旨をとらえることができていない。設問 2 では、自分の考えを支える根拠が曖昧、書けていないという誤答があった。どちらも、事実と意見を明確にとらえていないため、自分の考えとその根拠を書き分けることができなかつたと考えられる。また設問 3 の結果から、筆者の意図する表現や構成の工夫をとらえる力が十分でないと言える。

さらに本単元の言語活動につながる児童の意識を把握するために、図画工作科の鑑賞活動や日頃の書く活動に関連した意識調査を行った。

(意識調査 対象児童数 100名)

設問	内容	項目	(%)
	鑑賞して感じたことや考えたことをうまく言葉で表現できますか。	できている	64
		できていない (理由)・「うまい」「すごい」という言葉でしか表現できていない。 ・自分の心の中の思いをうまく表現できない。	36
	自分の考えを伝えるためにどんなことに気をつけて書いていますか。(複数回答)	1 書き出し	32
		2 文末表現	15
		3 自分の体験	41
		4 構成	27
		5 言葉	54
		6 そのほか(短く)	1

児童の回答から、設問 1 では、自分の考えを伝えるために言葉を選んで書こうと気をつけている児童が多いことが分かる。しかし設問 2 から、言葉で表現することに抵抗をもっている児童もあり、「限られた言葉でしか表現できない」「思いはあってもそれをうまく言葉で表現できない」という理由が多く挙げられた。2つの設問から、自分の思いに合う言葉を選んで書こうとする意識は持っているが、実際に活用できる語彙や表現方法が身に付いていないと考えられる。

以上のことから、本学年の児童は、「事実と意見を明確にとらえたり、表現や構成の工夫に着目したりしながら読むこと」「目的や意図に応じて、表現を工夫して書くこと」が主な課題であると考えられる。

### (3) 指導観

児童の課題を踏まえ、「『鳥獣戯画』を読む」「この絵、わたしはこう見る」二つの教材を関連させた一つの単元を構想した。単元全体を貫く言語活動を「ひらめきアートブックを作って、絵のすばらしさを伝えよう」と設定し、筆者の絵の見方や評価・表現を主体的に読み取り、その表現の工夫を活用して、自分が選んだ絵を見て、見方や感じたことを読者に伝える文章を書く活動へ展開させていく。また単元を通して、中学校美術教員より、絵を見る視点や解説を聞き、児童の視野を広げさせて、書く活動へ生かす。

指導に当たっては、次のような手だてをもとに、つきたい力をつけていく。

筆者のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えを明確にしながら読む力

事実と意見の関係をとらえる視点から

- ・絵と文章を結びつけながら、作品の事実を述べた「解説部分」、筆者の意見・感想を述べた「評価部分」を色分けして読み、その関係をとらえさせる。
- ・筆者の『鳥獣戯画』に対する見方と自分の見方とを比べさせる問いかけをし、自分の考えを明確にさせるとともにものの見方を広げさせる。

表現や構成の工夫をとらえる視点から

- ・『鳥獣戯画』を筆者が高く評価していることが分かる表現を問うたり、読者を引きつける表現に気づいたりする発問をする。

(主に児童に気づかせたい表現・構成の工夫)

- ・体言止めを活用した実況風の書き出し
- ・語りかけるような文末表現
- ・逆説、累加、限定などの強調表現
- ・評価を表す言葉
- ・絵を分割したり、つなげたりする構成の効果

自分で絵、本、映画等を評価した文章を探して読んだり、その表現の工夫を書き留めたりして「手引き書」を作る活動を並行して行い、書く活動で活用する。絵を読み解いたことを伝えるため、事実と感想、意見などを区別して簡単な解説の文章を書く力

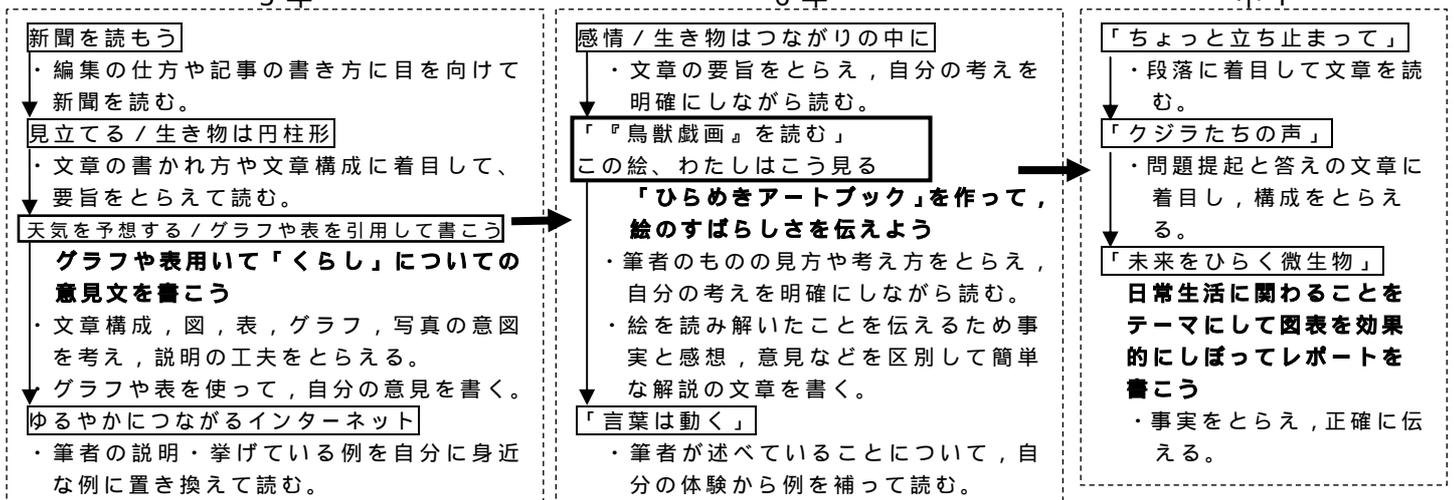
- ・例文と自分の書いた文章を比べ、書き出しや記述の工夫に気づかせる。
- ・「手引き書」を活用し、多様な言葉での表現を工夫させる。

## 6 単元・内容の関連

5年

6年

中1



7 単元の目標

絵や絵巻物などに興味をもち，文章を読んだり，書いたりしようとする。

(関・意・態)

「『鳥獣戯画』を読む」を読んで，筆者のものの見方や考え方をとらえ，自分の考えを明確にしながらか読むことができる。(読ウ)

絵を読み解いたことを伝えるため，事実と感想，意見などを区別して簡単な解説の文章を書くことができる。(書ウ)

文末表現や助詞の使い方などに着目して読み，文章の中での語句と語句の関係を理解することができる。(言イ(オ))

8 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
「ひらめきアートブック」を作って，絵のすばらしさを伝えよう			
・「ひらめきアートブック」を作ることに関心をもち，目的をもって文章を読んだり書いたりして，自分の見方を広げようとしている。	・筆者のものの見方や考え方をとらえ，自分の考えを明確にしながらか読んでいる。	・絵を読み解いたことを伝えるため，事実と感想，意見などを区別して簡単な解説の文章を書いている。	・文末表現や助詞の使い方などに着目して読み，文章の中での語句と語句の関係を理解している。

9 単元指導計画(全9時間)

次	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	評価の観点				評価の方法
				関・意・態	書く	読む	言語	
出会う	「鳥獣戯画」の絵を見て読みとったこと感じたことを書き，学習計画を立てる。	1	絵巻物などに興味をもち，筆者の表現の工夫(ものの見方や考え方)を読もうとしている。					観察 ノート
	筆者が「絵」のどの部分を取り上げて何に着目して評価しているかを押さえ，自分の考えを明確にして読み取る。	1	筆者が「絵」のどの部分を取り上げて何に着目して評価しているかをおさえ，自分の考えを明確にして読み取っている。					観察 ノート

追究・表現する	<p>筆者が「絵」や「絵巻物」のどの部分を取り上げて何に着眼して評価しているかを押さえ、自分の考えを明確にして読み取る。</p>	1 (本時)	<p>筆者のものの見方をとらえ、それに対する自分の考えを明確にして読み取っている。</p>					ノート
	<p>日本文化の大きな特色をもっている絵巻物のどの部分を取り上げて何に着眼して評価しているかをおさえ、自分の考えを明確にしなが読み取る。</p>	1	<p>日本文化の大きな特色をもっている絵巻物のどの部分を取り上げて何に着眼して評価しているかを押さえ、自分の考えを明確にしなが読み取っている。</p>					ノート
	<p>学習を通して、新しく知ったこと、見方が広がったと思うことについて自分の考えをまとめ、発表し合う。</p>	1	<p>学習を通して、新しく知ったこと、見方が広がったと思うことについて自分の考えをまとめている。</p>					ノート
生かす	<p>絵を見て、何がどのようにかかっているか、読み取ったことを伝える文章を書く。</p>	1	<p>絵画に興味をもち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。</p>					観察 ノート
	<p>事実と感想、意見のそれぞれの記述の仕方について表現の効果を考え工夫して書く。</p>	1	<p>書き出しや記述を工夫して、見た絵の様子を書いている。</p>					ノート
	<p>自分で選んだ絵から読み取ったこと、感じたことを文章に書く。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と感想、意見などを区別するとともに、見た絵の様子についての簡単な解説の文章を書いている。</li> <li>・文末表現や助詞の使い方などに着眼して、文章の中での語句と語句の関係を理解している。</li> </ul>					ノート
	<p>書いたものを読み合い、友達の文章の優れた点、自分の考えとの共通点・相違点を伝え合う。</p>	1	<p>友達の文章の優れた点、自分の見方・考え方との共通点・相違点を述べている。</p>					ノート

10 本時の目標

筆者が「絵」や「絵巻物」のどの部分を取り上げて何に着目して評価しているかを押さえ、自分の考えを明確にして読み取る。

11 準備物

電子黒板 絵巻物

12 本時の評価規準

筆者のものの見方をとらえ、それに対する自分の考えを明確にして読み取っている。

13 学習の展開（本時 3 / 9）

	学習活動	主な発問と 予想される児童・生徒の反応	指導上の留意点（ ）と評価及び評価方法（ ）
つかむ 5分	1 本時の課題を確認する。 4段落から課題をつかむ。 課題  音読する。 ( 段落 )	筆者は『鳥獣戯画』を「漫画の祖」の他に何と言っているのだろう。 ・アニメの祖  アニメの祖としての『鳥獣戯画』を筆者はどのように読み取っているのだろう。	中学校美術教員が「漫画」と「アニメ」の意味を解説する。
考える 10分	2 自力解決をする。 筆者の見方をつかむ。  3 友だちの考えから学ぶ。	筆者は「何を」「どのように」見ているか見つけよう。  筆者は『鳥獣戯画』をどのように評価していますか。 ・口から出た線に着目し、まるで漫画のふき出しと同じことを「 <u>こんな昔からやっている</u> 」と評価している。 ・線のかき方や筆さばきに着目し、動きがあることを「 <u>大したものだ</u> 」と評価している。 ・蛙のポーズや表情から、時間の流れがあることが「 <u>実にすばらしい</u> 」と評価している。	絵の解説部分は赤線を、筆者の評価が感じられる部分は青線を引かせる。 対応する文と絵が分かるように、絵にも赤線で囲ませる。  『鳥獣戯画』の何を視点に解説しているか明確に示す。 (ふき出し、動き、時間の流れ)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">深める 20分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>比べる 絵の見せ方を比べ、「アニメの祖」という筆者の考えに迫る。</p> </div> <p>筆者の表現の工夫をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>比べる 『鳥獣戯画』の筆者の見方と自分の見方を比べる。</p> </div>	<p>筆者は『鳥獣戯画』を「アニメの祖」としてどのように読み取っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふき出しや動きを取り上げて、絵として『鳥獣戯画』を読み取っている。</li> <li>・時間の流れを取り上げて、絵巻物として『鳥獣戯画』を読み取っている。</li> </ul> <p>筆者の評価している言葉の良さはどんなところでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な評価の言葉で気持ちを表現している。</li> <li>・評価している言葉が、徐々に気持ちの高まりを表現している。</li> </ul>	<p>中学校美術教員が筆者の絵の見せ方を、電子黒板を使って二通り行い、絵巻物としての『鳥獣戯画』の見方をおさえる。実際に絵巻物を見せ、「アニメの祖」としての実感を持たせる。筆者の表現は「手引き書」にまとめて、次の書く活動へ生かす。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる 10分</p>	<p>4 振り返る学習のまとめをする。</p> <p>学習を振り返る。</p> <p>次時の予告を聞く。</p>	<p>『鳥獣戯画』の筆者の見方をまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>筆者は、『鳥獣戯画』の絵巻物を、ふき出しや動き、時間の流れを取り上げて、「アニメの祖」としてのすばらしさを読み取っている。</p> </div> <p>筆者の評価に対する自分の考えをまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>私も、『鳥獣戯画』の絵巻物を「実にすばらしい」と評価する筆者の考えに共感します。なぜなら、右から左へ絵を見ると、蛙がうさぎを投げ飛ばすという時間の流れが読みとれたからです。</p> </div> <p>筆者が絵巻物『鳥獣戯画』をどのように見ているか読んでいこう。</p>	<p>評価規準及び評価方法 筆者のものの見方をとらえ、それに対する自分の考えを明確にして読み取っている。</p> <p style="text-align: right;">(ノート)</p>

心	ま	友	自	課
絵巻物としての 鳥獣戯画		絵としての 鳥獣戯画		
筆者は、『鳥獣戯画』の絵巻物を、ふき出しや動き、時間の流れを取り上げて、『アニメの祖』としてのすばらしさを読み取っている。		口から出た線 目や口の描き方 気合いの声 動きがある	評価している言葉（意見）	鳥獣戯画を読む 高畑 勲 文 アニメの祖としての『鳥獣戯画』を筆者はどのように読み取っているのだろうか。
気分が想像できる ような蛙のポーズや表情 時間の流れ		背中や右足の線 目や口も笑っている	こんな昔からやっている 大したものだ	
実にすばらしい		評価の高まり		

ものの見方を広げよう  
『ひらめきアートブック』を作って、絵のすばらしさを伝えよう。

出会う（1時間）

『鳥獣戯画』の絵を見て、学習のめあてをもとう。

『鳥獣戯画』の絵を見て感想を交流したり、絵から読み取ったこと、感じたことを文章に表したり、学習計画を立てたりする。

筆者はこの絵をどのよう  
に見ているのかな。

筆者は読者に伝えるた  
めに、どんな表現の工夫を  
しているのだろう。

序論、本論、結論の展開  
で筆者の考えが述べられ  
ているな。

追究・表現する（4時間）

「『鳥獣戯画』を読む」を絵と文章を結びつけて読もう。

「絵」「絵巻物」のどの部分  
を取り上げて何に着目しているか、  
それをどのように評価してい  
るか筆者のものの見方や考え方を  
とらえる。

文章全体の筆者の表現の工  
夫についてまとめ、そのよう  
に表現した意図について考  
える。

筆者は視点  
を示して評価  
しているな。  
(1/4)

筆者は、絵を解説  
し、それに対して様  
々な言葉で評価し  
ているので、『鳥獣  
戯画』のよさが伝わ  
るな。(本時 2/4)

筆者は、日本文化の  
特色を持つ絵巻物を、  
人類の宝という言葉  
で表現して、自分の考  
えを工夫して述べて  
いるな。(3/4)

もののよさをみ  
る目を広げたり、感  
じたことをさらに  
深く考えたりして  
いきたいな。(4/4)

生かす（4時間）

『ひらめきアートブック』を作って絵のすばらしさを伝えよう。

「風神雷神」の絵から読み取  
ったことを、感じたことを文章に  
書く。

自分の好きな絵から読み取  
ったこと、感じたことを文章  
に書き、交流する。

筆者の表現や  
構成の工夫を取  
り入れながら文  
章を書かず。(1/4)

事実と意見・感想を区  
別して、絵から読み取  
ったことを文章にして伝  
えるぞ。(2/4)

これまでの学習を生かして  
書こう。(3/4)  
友だちの見方・考え方や書き  
方の工夫が分かったよ。(4/4)